

## <8月事務例会報告>

書記 阪本伸彦

- ・日時：2015年8月20日（木）19：00～21：00
- ・場所：西神戸YMCA412号教室
- ・出席者：佐伯、阪本、杉本、舘、達、中村、西田、野呂、

### 1. 報告事項

(1) 7/25（土）六甲部第1回評議会（於：グリーンヒルホテル神戸）

\*参加者：阿部、大津、佐伯、杉本、中村、野呂

\*総参加者は議決権者数53名（評議会成立要件を充足）、メネット8名、合計61名

(2) 第26回アジア地域大会 7/31（金）～8/2（日）  
参加者：杉本、藤井

\*8/2（日）の大会終了後、IBC（台湾高雄ポート）、DBC（東京武蔵野多摩）を始め、総勢29名が集まり、賑やかな昼食会となり懇親を深めた。参加者：佐伯、杉本、野呂、藤井。

(3) 8月第1例会、学園夏まつり（地域の祭）に参加し「握力測定」実施、8/1～8/2（土、日）17：00～20：00

\*今年は、両日とも開催時間が1時間短縮され、20：00までの開催となったが、2日間で約800人が握力測定に参加し、盛大裡に終わった。

\*8/1参加者：佐伯、阪本、達、丹家、中村、西田、野呂（メイクアップ：杉本、藤井）

8/2参加者：阪本、丹家、中村、西田、野呂（メイクアップ：佐伯、杉本、藤井）

(4) 六甲部ローンボウルズ大会実施（於：しあわせの村）

\*参加者：運営委員として合田メン・メネット、選手として杉本、中村、野呂

\*総参加者 運営委員10名、選手24名

### 2. 協議事項

(1) 六甲部会 9/5（土）六甲荘

\*参加予定者：佐伯、杉本、舘、中村、野呂、藤井（杉本、中村、野呂はメネットアワーより参加）

\*六甲部会で黒にんにくを販売する。

2) ブリテン作成、及び送付の予算

\*ブリテン印刷用紙を紙業者に原版の作成依頼をすると高額になるため、原版をクラブにて新

しく作成する。担当は杉本メン。

(3) 9月第一例会 9/17（木）関学フラサークルによるハワイアンフラ・イベント

\*広報のためのポスター作製は阪本が担当。中身についての資料提供は杉本が担当。

\*当日の流れ、到着→食事（1階会議室）→着替え（ウエルネス更衣室）→リハーサル（ウエルネス2階スタジオ）→本番（ウエルネス3階多目的ホール）

\*石田ウィメン（宝塚クラブ）にフラの歴史の説明を依頼。プロジェクターの準備。

\*ドライバーは杉本メン。

(4) 黒にんにくについては、9月事務例会にて再度協議する。

(5) 9月の行事計画

①9/3（木）事務例会

②9/5（土）六甲部会（六甲荘）

③9月第一例会「ハワイアン・フラ」

### 3. YMCA報告

\*「わいっ子夏まつり」8/22（土）14～16時を実施する。模擬店を4店出店するので、ぜひ参加をお願いする。

## <9月事務例会報告>

書記 阪本伸彦

- ・日時：2015年9月3日（木）19：00～21：00
- ・場所：西神戸YMCA412号教室
- ・出席者：佐伯、阪本、舘、達、丹家、中村、西田、野呂、

### 1. 報告事項

(1) 六甲部会（於：六甲荘）

参加者：佐伯、杉本、舘、中村、野呂、藤井、（杉本、中村、野呂はメネット会より出席）

(2) 六甲山YMCA研修センターの建物の修繕、整備の奉仕作業を検討

\*中西部がYサ・ユース事業として企画し、六甲部と阪和部に共同作業の打診があった。

(3) 九州部会（10/17土・於：阿蘇プラザホテル）

\*亀浦正行直前九州部長のエルマークロウ賞の受賞祝賀会も行う。

### 2. 協議事項

(1) 9月第一例会「ハワイの文化に触れあう夕べ」9/17（木）準備事項と担当

- ・ドライバー（杉本）
- ・チラシ：杉本案を一部修正したもので作成することが決定
- ・広報（中村）
- ・集客（各自3名目標）
- ・タイムスケジュール作成（阪本）
- ・弁当とお茶手配（野呂）
- ・会場準備（全員）
- ・プロジェクター、スクリーンの準備（達、西田）
- ・会場・部屋予約：西田、達  
食事(4F 401)、更衣室(ウエルネス2階更衣室)、リハーサル(ウエルネス2階スタジオ)、演舞会場(3F多目的ホール)
- (2) 黒にんにくの販売促進、及び会計と在庫管理  
\*杉本メンがお休みなので、六甲部会時に話し合う。
- (3) レターヘッド3000枚の見積もりをする。
- (4) じゃがいもファン্ডを今年は実施する。  
200箱を予定。
- (5) 誕生祝のプレゼントをワイズフォークにして発注する。

### 3. YMCA報告

- (1) 六甲部会でワイワイまっりの「お楽しみ抽選会」の券の販売をお願いします。券の販売を簡素化したものを用意した。
- (2) 全国リーダー研修会への補助金をいただき感謝。リーダーの人数も一時は危機的状態だったが、現在は登録人数も60名と大幅に増加した。

### 4. 10月の行事計画

- ①10/1(木) 事務例会
- ②10/23(金) ワイワイまつり準備
- ③10/24(土) ワイワイまつり(10月第一例会)

## <六甲部交流・親善ローンボウルズ大会>

直前会長 杉本隆人

大会は8月8日(土)9時から神戸しあわせの村のローンボウルズ場で12チーム(1チーム2人)の参加で、晴天のなか行われました。

学園都市からは、合田メン、野呂メン、中村メン、杉本メンとお世話係りとして元会員の森ご夫婦、安倍さんと合田メネットらが参加。

芦屋クラブからは10名もの参加があり、猛暑日にも拘わらず、熱戦となり、時間の経過を忘れるほどに、みなさ

ん試合に集中されていたのが印象的でした。

優勝は西宮クラブの山本チーム(山本メン、山口メン)、2位はさんだクラブの杉村チーム(杉村メン、森メネット)、3位は神戸クラブの山口チームでした。福原チーム(福原メン、五十嵐ロリス・マゴメット)が健闘して入賞したのが、大いに大会を盛り上げてくれました。

わがチームは、全勝しましたが、失点差では接戦ばかりで、得点確保できず、7位入賞でした。久しぶりにローンボウルズをさせてもらって楽しかったです。



お世話してくださった、森さんご夫婦、合田さんご夫婦、安部さんに感謝申し上げます。また、これを企画してくれました、福原主査、中村補佐に感謝もうしあげます。「ご苦労様でした。」

## <第14回六甲部部会報告>

副会長 佐伯一丸

- ・日時：2015年9月5日(土)15~19時30分
- ・場所：ホテル北野プラザ六甲社
- ・第1部開会式
- ・第2部研修会：中道基夫氏(神戸YMCA理事長)
- ・第3部親睦会：中村父子の楽しいピアノ連弾

### 1. 第1部開会式

進藤啓介・六甲部部長、遠藤通寛・西日本区理事、井上真二・神戸YMCA総主事のご挨拶と、来賓とビジターの紹介があった。

### 2. 第2部研修会：講師・中道基夫氏

『YMCA ブランドの再生～オールジャパンYMCAの革新を～』

昔、YMCAと言え、英会話教室や大学受験予備校などで有名であったが、今はこれと言って直ぐに思い出せてもらえるものがない。漠然

としたイメージになってしまっている。しかも、全国にある YMCA がロゴマークを含めて、バラバラに活動している。

そこで、YMCA というブランドの意味を考え、中期計画の 5 つの重点項目についての進み具合を明らかにし、大きなミッションの存在を共に確認していきましょう、というのが研修会の主旨である。

パワーポイントとハンドブックを使って話をされた。

**ブランドとは**、YMCA が選ばれる理由であり、それは、目に見える形ではなく、人々の頭の中にあります。

**ブランド再生とは**、人々の帰属意識を（愛着・アイデンティティ）を育てていくことです。

「うちの子は YMCA に通っているのよ」と自慢できる。「YMCA なら安心よね」「さすが YMCA」「やっぱり YMCA」と言ってもらえるようにすることです。

### **YMCA の宝**

- ・世界 119 の国と地域に広がる YMCA のネットワーク
- ・170 年以上の歴史、5800 万人の会員、世界最大の NPO 法人
- ・Think Globally, Act Locally 平和のために行動するコース
- ・キャンプ、グループワーク、野外知識・技術、災害・震災支援活動、ボランティアとスタッフの協働、ユースボランティアの力、子供から大人まで、障害を通して成長できる場、多様な事業・活動、各地の拠点、キャンプ場、子供の成長に寄り添う、学校でもない・家庭でもない居場所

### **YMCA のミッション（使命）とは**

- ・イエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学ぶ。
- ・すべての人々の全人的な成長を願い、命を守り育てる。
- ・人権を守り、喜びと痛みを分かち合う社会を目指す。
- ・世界の人々と共に、平和の実現に努める。
- ・このミッションによって、世界の YMCA は一つにつながっているのです。

### **5 つの重点項目（中期計画）**

- (1) ミッションを伝える（そして心に刻む）  
「YMCA のプログラムへの参加」を促すとき、「YMCA の活動のための寄付」をお願いするとき、あなたはその意義をどういう言葉で説明していますか？ 1 分間スピーチを行ってみましょう。
- (2) スタッフ研修の充実（YMCA＝人の魅力）  
スタッフ・会員は、人と人を繋ぎ、社会が必要とする働きを、課題発見から解決するまでコーディネートする役割を担います。  
そのために必要な研修とは？
- (3) 存在感のある広報づくり（地域性とグローバル感）
- (4) 健全な財政（収入がなければ継続はない）  
どうすれば、より良い運営で、接続可能なものになると思いますか？
- (5) オールジャパン YMCA としての力を発揮（ガバナンスの強化）

あなたの YMCA は、地域問題を発掘し、議論し、改善に向けて具体的なアクションを起こす力を持っていますか？

近隣や全国の YMCA と情報交換して、協力する機会がありますか？

オールジャパン YMCA としての変化は、どうしたら実現できると思いますか？

### 3. 第 3 部～中村父子の楽しいピアノ連弾

父・中村健さんは東京芸大・作曲科、同大学院・指揮専門課程を卒業され、1978 年渡独。現地のいくつかのオペラ劇場の指揮者や主任音楽コーチとして活躍。

子供さんの徹（てつ、現 32 歳）さんは 6 歳直前に、高機能自閉症との診断を受け、帰国を余儀なくされた。帰国後、神戸市通級指導教室、西宮 YMCA の LD 教室などの指導、カウンセリングの中、徐々に音楽に目覚め、ピアニスト、作曲への道に進む。

父子の連弾は 10 数年前からで、仲間内の余興から始まったものがマスコミの知るところとなり、ブレイクした。2009 年には、NHK 教育テレビの障害・福祉情報番組「きらっと生きる」で日常の生活ぶりが特集された。

### 演奏曲目

- (1) チャイコフスキー：<くるみ割り人形>より「可愛らしい序曲」 徹+健共編
- (2) ドビュッシー：<小組曲>より 1. 小舟にて、4. バレエ
- (3) 中村徹：“ピアノのための 24 のプレリュード”より NO.20「音の手紙」ハ単調  
”お母さんのために“
- (4) 中村徹：“連弾のためのハンガリー舞曲”より No.1、No.2
- (4) ヘンデル：オラトリオ“メサイア（救世主）”より「序曲」 仲村徹 編曲
- (5) 仲村徹：“連弾のための謝肉祭”より「間奏曲」、「もっとお祭り騒ぎ」

健さんの曲の紹介のかたわら、徹さんの曲への取り組み方、父子の関係性など、父親としての愛情あふれる話がありました。もちろん、演奏も素晴らしく、感動を与えてくれました。

### <IBC、DBC 交流会の写真>

アジア大会が京都で7月31日～8月2日まで行われましたが、2日の午後、京都の木屋町、高瀬川二条苑で IBC（台湾・高尾ポート）、DBC（東京武蔵野多摩クラブ）との交流会が行われました（8月号にて掲載）。

その時に掲載できなかった写真をいくつか掲載します。





## < 今月の聖句 >

### だれよりもたくさん入れた

この貧しいやもめは、賽銭箱に入れている人のなかで、だれよりもたくさん入れた。  
(マルコ 12-43)

これは、「最後の晩餐」の前日、イエスがエルサレムの神殿で弟子たちに発せられた言葉です。  
イエスの受難と死が目前に迫っていました。

イエスはそれを当然、予知しておられました。

まもなく師を裏切る弟子たちに、教えておかねばならないことがたくさんありました。

「神殿の崩壊の予告」と「終末の徴」「死と裁き」、さらに「偽善的な行いへの警告」も。  
師の語調がいつになく厳しいのに気づいても、その切迫した心を理解できる者はいませんでした。  
そのようなとき、一人の貧しいやもめが現れたのです。

賽銭箱への行列に混じった彼女の行いを見たときのイエスの目の輝きが想像できます。

しかし、彼女が貧しい生活を送りながらも神への信仰を失わない善良さを持ち、そのわずかな金銭が彼女にとってどれだけ大切なものかを、イエスをご存じでした。

寛大な心は金銭の額だけでは計れず、信仰の深さは見た目だけではわかりません。

しかし、神さまはわたしたちの心を見ることも、計ることもおできになるのです。

あの貧しいやもめの行いは、だれにも注目されるものではありませんでしたが、イエスだけは見ておられました。

彼女の行いは、人々の裏切りと死を間近に控えたイエスの心を慰めました。

そして、弟子たちに言い残しておかねばならない大切な教えを伝える絶好の機会ともなりました。  
人間の功德の値打ちは、どれだけ与えたかではなく、どのような心で与えたかにあるのだと。

～教養として知っておきたい聖書の名句（中井俊巳、グラフ社）より～